

## 株式会社大屋 様

POWER EGG2.0により、本部・店舗間コミュニケーションが格段に向上！システム運用負荷も低減し、ワークフローにより意思決定のスピードがアップ！



小売業

情報共有

コスト削減

運用負荷軽減

グループウェア



### 会社概要

- 会社名  
株式会社大屋
- 所在地  
愛媛県西条市東町275番地3
- 事業内容（連結事業）  
ドラッグストア(mac)、映像・音楽のレンタル及び販売(TSUTAYA)の経営
- 従業員数  
530名（2010年10月末現在）
- URL  
<http://www.daiya-grp.co.jp/index2.html>

### POWER EGG利用環境

- 導入時期  
2010年6月
- 製品バージョン  
POWER EGG2.0
- ライセンス数  
約200ライセンス

【取材ご協力者】



左) 現場支援管理グループ・システムチームリーダー 執行役員 頼木 敏文 様

右) 現場支援管理グループ・電算チームリーダー 藤原 峰治 様

## POWER EGG2.0 導入経緯と目的

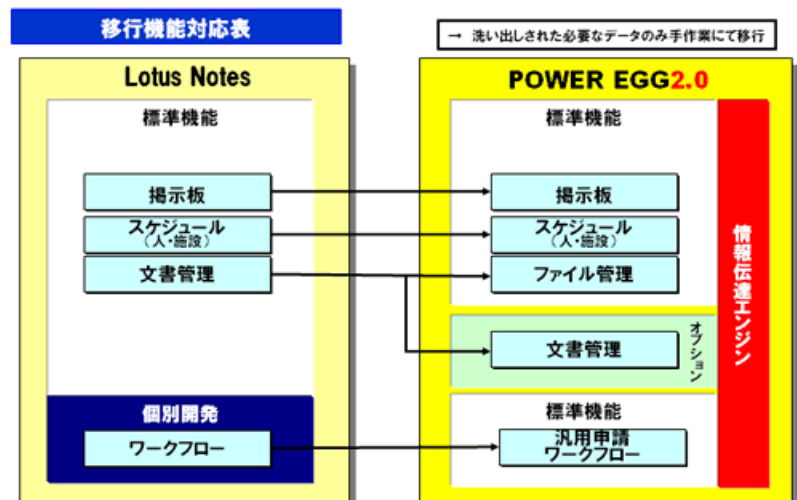
同社は、グループウェア及びワークフローをNotes上で行っていた（ワークフローは手組み）。しかし、多店舗展開に不可欠の情報共有・利活用機能、あるいは使いやすいワークフローといった点でもの足りなく、また頻繁な組織変更に伴う運用負荷も高かった。そこで 2010年6月、POWER EGG2.0への入替を決定されました。

## 以前のグループウェアの問題点

- 作業の指示／回答が、常に一方通行になり、本部-店舗間、商品部-店舗間でタイムリーな情報共有ができない。
- ワークフローがもの足りないため、作業の指示徹底が図られず、申請・決裁業務が紙ベースで運用されていた。
- サポートが終了することにより、従来システム（Notes）に何か問題が生じたときに手が打てない。
- 内部統制対応／セキュリティ対策が不十分であること。Notesでは、アクセス権の設定に手間がかかり、結局「起案書」「始末書」等がアクセス権設定のないまま回り、全員が見れてしまう状態になっていた。

## POWER EGGへの移行に際して

データ移行に関しては、洗い出しされた必要なデータのみを手作業で移行した。また機能面に関しても、これまで利用してきた「掲示板」「スケジュール」「文書管理」「ワークフロー」は、POWER EGG2.0の標準機能および、@Driveにて対応可能で、新たに個別開発等は必要なく移行できた。



# 導入による効果

## 本部－店舗間コミュニケーションの円滑化や活性化

以前は本部から出す作業指示と、それに対する店舗の回答がそれぞれ一方通行になりがちで、実施済という回答があった店に行ったところ、実態は未実行というケースもあったようだ。

それが今では、例えば陳列指示を出す場合もコメントを付けて具体的に指示し、店舗サイドで分からない場合は、「もっと詳しい指示が欲しい」「分からないところがある」などのコメント付きで質問が返ってくる。また陳列指示を実行した場合は、コメントおよび陳列実施画像付きで回答が戻る。

「即、指示」「即、回答」であり、現場の動きはかなりスムーズになった。こうしたことにより作業指示の徹底が進むと同時に、やり取りができるため本部-店舗間コミュニケーションの円滑化や活性化にも役立っている。

## ワークフローの活用により決裁のスピードアップ

『最終的にPOWER EGG2.0 を選択した理由、それはワークフローの機能が抜群だったことが大きいですね』（頼木氏）

POWER EGG2.0 の稼働により、普通の作業での指示・回答・報告などは全てワークフローにのせられ、決裁のスピードアップが図られるようになった。

労務・経理・経営なども含め、今では申請書が30種類ぐらいに増え、申請・決裁が便利になり、紙ベースでの処理は大幅に減少。簡単に申請フォーマットが作成でき、また申請ルートを気にすることなく申請できる点も喜ばれている。

店舗では、パートさんも店舗IDを使って「シフト変更申請」など、気軽にワークフローを使えるようになっている。

また、業務上店舗間を頻繁に移動するエリアマネージャーたちにとってもPOWER EGG2.0 のワークフローは評判がいい。以前は週に1-2回、本部に立ち寄った際にしか決裁できなかったが、今では移動中でも決裁できる。それだけ仕事にスピード感が増し、本部や現場店舗との連携がスムーズになっている。

## 情報システム管理者にとっての扱いやすさ

運用管理の負荷が少ないこと、これもPOWER EGG2.0 を選択する大きな理由となった。

同社の特徴の1つ、それは人事異動が多いことである。新規出店のたびに、頻繁に異動が行われ、組織変更を必要とする。そこで組織図メンテナンスが必要になるが、これがそのつど手間を要すると大変である。その点でPOWER EGG2.0はシステムの運用管理負荷も少なく、ニーズに合致していた。

## 導入後の評価



現場支援管理グループ・  
システムチームリーダー  
執行役員 頼木 敏文 様

「実は弊社の情報システムは、電算チームリーダー（藤原氏）がほぼ1人で管理し、私が側面サポートしています。システム要員が少ない。それだけに正直なところ、今までと違い、とにかく運用負荷の少ないものを入れたい、というのが私たちシステム担当の希望でした。47店舗もありますから、何かトラブルがあるたびに、いちいち対応していたらキリがないんですよ」

『こんどはプログラムの世界じゃないから、簡単にメンテナンスできる』

『IDの追加や組織図の変更も楽勝。予定日付指定ができるので組織変更時にシステム停止もなくスムーズ』

『いま開いている画面に応じたヘルプがあるので、導入時に、“何か分からなければヘルプを参照すること”と伝えたが今のところ大きな混乱もない』



現場支援管理グループ・  
電算チームリーダー  
藤原 峰治 様

「以前は全体の情報揭示があって対象店舗はどこ、という状態だから、一応全部見てみないと自分に関係のある情報が見つからなかった。それが今は、自分に関係のある所だけ見れば用が済む。対象の店舗にしか指示を出さないから、受ける側は区分けの必要がない。

つまり、アシストメッセージを順番につぶして行けば、いつの間にか仕事が全部片付いているという感じですね。これは現場サイドの評判がすごくいい」



### ディサークル株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1

住友不動産千代田ファーストウイング

TEL:03-3514-6060 FAX:03-3514-6069

<http://www.d-circle.com/>

取り扱いパートナー

※POWER EGGはディサークル株式会社の登録商標です。

※その他記載されている会社名、製品名およびサービス名等は各社の登録商標または商標です。

※本事例に記載された情報は初掲載時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性があることをご了承ください。